

メリーランド・ストロング：復興のためのロードマップ (MARYLAND STRONG ROADMAP TO RECOVERY) 要旨

❖ 本要旨は、在留邦人の皆様のご参考として、メリーランド州政府が社会経済活動の再開に向け作成したガイドラインの主な内容をまとめたものです。できる限り正確な情報を記載するよう努めました。内容については原文に依拠願います。

◎再開基準とステージ区分について（本要旨 1.~3.）

（原文）「MARYLAND STRONG ROADMAP TO RECOVERY」（4月24日発表）

https://governor.maryland.gov/wp-content/uploads/2020/04/MD_Strong.pdf

◎低ステージ（ステージ 1）について（本要旨 4.）

（原文）「MARYLAND STRONG ROADMAP TO RECOVERY : STAGE ONE」（5月13日発表）

<https://governor.maryland.gov/wp-content/uploads/2020/05/May-13-Slides.pdf>

❖ 業種別の詳細なガイドラインについては、メリーランド州政府作成の以下資料をご参照ください。

◎[RETAIL](#)（小売店）

◎[MANUFACTURING](#)（製造業）

◎[PERSONAL SERVICES](#)（パーソナル・サービス）※美容院等

◎[RELIGIOUS SERVICES](#)（宗教施設）

❖ 本件再開措置は[知事令](#)を法的根拠とします。併せご参照ください。

1. 復興に必要な4つの要素と再開基準

(1) 復興に進むためには次の4つの要素 (Four Building Blocks) が必要。

- ① 十分な感染防護具 (PPE) の確保
- ② 病床数や人工呼吸器等の必要物資を含む病院の十分な対応能力 (Surge Capacity)
- ③ 十分な検査 (Testing) 態勢
- ④ 十分な接触者追跡 (Contact Tracing) 態勢

(2) 再開基準

- 連邦政府の「アメリカ再開のためのガイドライン」に従い、再開および次のステージに進むには、基準となる数値が14日間続けて減少傾向にある必要がある。
- メリーランド州では、第一に新型コロナウイルス感染症患者の入院者数増加率 (含：集中治療室の病床使用数増加率) を、第二に同患者の死亡者数増加率を復興に進むための主な基準として用いる。また州内の検査態勢が更に拡充された時点で、新規感染者数増加率も効果的な基準となり得る。
- 入院者数増加率が安定し、患者数が医療体制を圧倒することなく、集中治療の必要物資が継続して得られる状況が続けば、復興手順を開始することができる。

2. ロードマップ

ポイント

- このロードマップは再開の日程を示すものではなく、復興に向けた進路を示すガイドであり、科学的小および産業的な研究に基づき、各種活動を感染リスクの観点から「低リスク」、「中リスク」および「高リスク」に区分し、再開手順を示したものである。
- 制限の解除により再度感染が拡大するような状況となれば、復興手順を減速・停止・逆戻りすることもある。
- 「低リスク」、「中リスク」および「高リスク」のそれぞれのステージには複数のフェイズがあり、これら「サブフェイズ」は、追加的再開の安全な実施が可能と州知事が判断した場合に発表される。
- このロードマップは、州政府が定めるステージとサブフェイズの範囲内において、地方保健当局者に柔軟性を与え、新型コロナウイルスの状況に係る地域差を考慮するものであり、州政府が (一部) 地方政府が基準を満たしたと判断する場合、郡の保健当局者は州が定める各ステージの範囲内において許容される活動や事業を拡大することができる。

復興のための3ステージ

※再開される事業・活動については状況に応じ変更される可能性がある。

(当館注)「低リスク・ステージ」については、5月13日発表の「[STAGE ONE](#)」が最新の内容です (次ページに要旨)。

低リスク ステージ (ステージ1)

- 復興に必要な4つの要素やその他基準に基づき、州知事が復興手順に進むことが可能と判断する場合、州知事は「低リスク・ステージ」に移行することを発表する。
- 「低リスク・ステージ」は、「生活の質」を幅広く向上させることを主眼としており、知事は外出禁止令を解除し、自主的な自宅待機ガイダンスへ切替える。
- このステージへの移行により可能となる具体的な「低リスク活動」は、一括して発表されるわけではなく、段階的に示される。
- 外出禁止令の解除に加えこのステージで実施される再開の一例は以下のとおり。
 - ・ 小規模店舗、特定の小規模事業
 - ・ 屋外 (curbside) で受け取り・引き渡し可能なビジネス
 - ・ 病院の外来診療やクリニックにおける非緊急の治療処置・歯科処置
 - ・ 出席者を制限した屋外での宗教的集会
 - ・ 娯楽活動としてのボート、釣り、ゴルフ、テニス、ハイキング、狩猟
 - ・ 洗車サービス
 - ・ 屋外での制限付きジム/フィットネス・クラス

	<ul style="list-style-type: none"> ・距離確保対策をとった屋外での業務 ・一部のパーソナル・サービス
中リスク ステージ (ステージ 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・このステージはより長期に及ぶことが見込まれるとともに、多くの事業や活動が再開されるステージである。 ・このステージで再開されるいかなる事業も、厳格な物理的距離の確保や適切なマスク着用に従う必要がある。 ・このステージで実施される再開の一例は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・集会の人数制限の緩和 ・屋内ジム／フィットネス・クラス ・チャイルドケア・センター ・交通機関の平常運転復帰の開始 ・屋内での宗教的集会 ・レストラン、バーの制限付き営業 ・病院での待機的／外来患者の受入れ
高リスク ステージ (ステージ 3)	<ul style="list-style-type: none"> ・このステージに移行するためには、米食品医薬品局（FDA）が認可するワクチンが広く得られる状況になるか、重篤患者の回復や最もリスクの高い人口層の重症化回避のための安全かつ効率的な治療法が確立していることが条件となる。 ・このステージで実施される再開の一例は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な集会 ・収容人数の多いバーやレストランの営業 ・介護施設や病院への訪問制限の緩和 ・娯楽施設の営業 ・大規模な宗教的集会

3. テレワーク、マスク、物理的距離

現時点において効果的な治療法は限られ、ワクチンも存在しないことから、メリーランド州民は、当面の間、テレワーク、マスク着用および物理的距離確保を継続する準備をすべきである。

(1) テレワーク

テレワークが可能な業務については、再開が進む場合であってもテレワークの延長を検討すべき。

(2) マスク

無症状であっても新型コロナウイルスの感染源になり得るため、マスク（フェイスマスク）の着用は継続すべき。

(3) 物理的距離

飛沫感染を防ぐため、他者と6フィート（約2メートル）の距離をとることを継続すべき。

4. 低リスク・ステージの要旨（5月13日発表）

5月15日午後5時をもって外出禁止令（Stay-at-Home Order）を解除し、自宅待機に関する勧告（Safer-at-Home Public Health Advisory）に移行。

- ・ 州内すべての小売店は最大収容数の50%を上限として営業再開可。屋外での引き取り・受け渡しやデリバリーは引き続き強く奨励
- ・ 製造業は安全・公衆衛生ガイドラインに従う形で操業開始可
- ・ パーソナルサービス（美容院等）は予約のみとし、最大収容数の50%を上限として再開可。適切な安全ガイドラインに則ること
- ・ 宗教施設は、屋外での集会在強く推奨されるが、最大収容数の50%を上限として、適切な安全策をとった上で屋内での集会も可
- ・ すべての州民、特に高齢者やハイリスクの人々は、できるかぎり自宅待機を継続。雇用者はテレワー

クを推進し継続

- すべての州民は屋内の公共空間，公共交通機関，小売店内ではフェイスマスクを着用すること
- すべての州民は物理的距離をとり，10人超の集会を避けること
- 頻繁に手洗いをし，よく触れる場所を頻繁に消毒すること

(当館注) 再開ステージへの移行延期や州政府ガイドラインよりも限定的な制限解除を決定した地方政府もあります。お住いの地域の再開措置の詳細については各地方政府が発信する関連情報をご確認ください。

◎メリーランド州知事室のウェブサイトでは，地域（郡・独立市）ごとの再開状況をマップで示しています。
<https://governor.maryland.gov/recovery/>